

## 令和2年度 事業計画書

期間 令和2年4月1日～令和3年3月31日

### 令和2年度 社会福祉法人つばめ福社会 事業計画書

#### 1. 基本方針

たとえ障がいがあっても、本人が希望や幸せを感じていけるよう、私たちは「ありのままのその人を認める」「誰もが必要な存在である」「困難な経験はやがて力になる」という信念のもと、「安心できる居場所」「仲間との繋がり」「様々な機会」を提供し、ひとりひとりの思いに誠実に丁寧に寄り添っていきます。

誰もがその人らしさを発揮し、小さな成功体験を積み重ねることで、自分に誇りを持ち、自分らしく生きていけると信じ、共に支え合いチャレンジしながら歩んでいきます。

そして人と人の絆を大切にし、誰もが暮らしやすい地域社会の実現を目指します。

#### 2. 行動指針

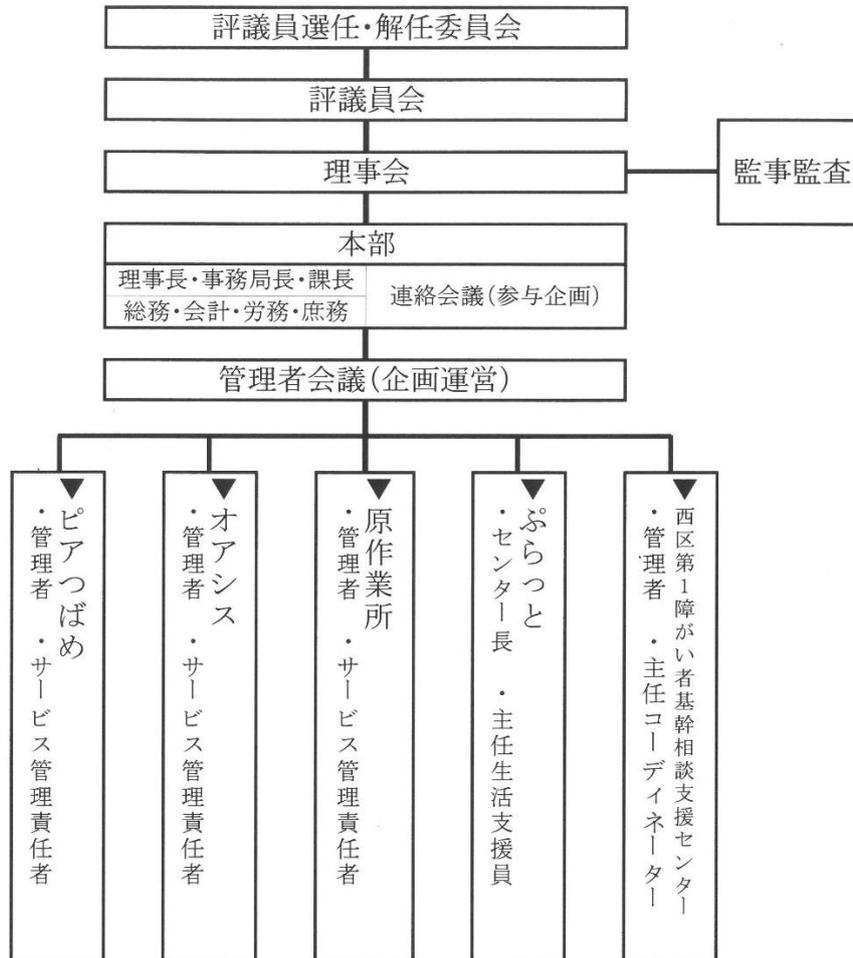
- (1) 常に利用者の立場に立ち、優しさと思いやりをもって行動する。
- (2) 専門知識の習得と援助技術の向上を目指し、常に自己研鑽に努める。
- (3) 地域のニーズを把握し、地域福祉に貢献する。

#### 3. 令和2年度重点目標

- (1) 質の高いサービスの提供
  - 1) 利用者の声や思いに真摯に向き合い、サービス内容の見直しや改善に努める。
  - 2) さわら会と法人の在り方を見直し、家族支援の新たな方向性を模索する。
  - 3) 関係機関や地域社会と連携し、視野を広げた効果的な支援に努める。
- (2) 安定的な事業運営
  - 1) 稼働率を適正化し、福祉報酬収入額比5%以上の次期繰越金額確保に努める。
  - 2) 生活訓練事業の安定化と、オアシスとぷらっとの改革を行う。
  - 3) 利用者ニーズに沿った新たな事業展開の準備を行う。
- (3) 人材確保と人材育成の強化
  - 1) 求人情報サイトと連携した新たなホームページを作成する。
  - 2) 学校との連携強化を図り、実習生の積極的な受入に努める。
  - 3) 研修会へ積極的に参加する。(県外の研修も含む)

#### 4. 法人ガバナンスについて

##### (1) 組織図



##### (2) 役員及び評議員 (令和2年4月1日時点)

役職	氏名	備考	役職	氏名	備考
理事長	鷹尾 和顕		評議員	古川 忠	
理事	三野原 義光		評議員	舘 暁夫	
理事	黒岩 宣征		評議員	廣田 悦子	
理事	藤原 浩志		評議員	山崎 純裕	
理事	西村 和徳	事務局長	評議員	辻野 伸茂	
理事	西村 隆之		評議員	外木場 達郎	
			評議員	前田 之雄	
監事	北古賀 康博				
監事	田中 雅美				

## 就労支援事業計画

## ● 事業目標

1. 誰もが安心して元気と自信を取り戻し、持っている力を発揮できる場の提供
2. 新しい職員体制の構築、働きやすい環境の整備

## ● 事業計画

1. 誰に対しても、尊重する気持ち、話しやすい態度、思いやりを持って接する  
器用でない人も製作に携われる「自主製品開発」をメンバーと協力して行う  
小さな成功体験の積み重ねを重視し、その為のチャレンジを続ける
2. 厨房の管理生産体制とマニュアルを整備し、人材育成と引継ぎがスムーズに行えるようにする  
スタッフひとりひとりが協力し、気遣い助け合う雰囲気を醸成する

つばめ工房 原作業所 通所者数 平均/目標

													(人/日)	合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	
R1年度 通所平均	16.5	15.0	15.1	15.5	13.3	16.2	17.0	15.5	16.0	15.4	16.8	15.5	15.7	187.8
R2年度 通所平均目標	15.8	15.8	15.8	15.8	15.8	15.8	15.8	15.8	15.8	15.8	15.8	15.8	15.8	189.6

## 授産への取り組み

## ● 授産事業内容

- 自主製品…シフォンケーキ、ジャム、クッキー、手芸作品の製造と販売  
下請作業…チラシ(帳合)、ペロル作業、行楽用品袋詰め、公民館清掃、市政便り配布、スタンプ押し

## ● 活動目標

- ・お互い協力しながら、やりがいと責任を持って、楽しく作業が行えるようにする
- ・主力のシフォンケーキは、ポスティングや営業、SNSで宣伝し、店頭販売を強化していく
- ・販売できる手芸作品をメンバーと共に企画開発し、仕事として定着できるよう販路開拓を行う

## ● 課題

- ・厨房管理生産体制の改善。厨房担当職員の育成と定着
- ・元受けの事情による仕事量減少への対応（特に器用でないメンバーが携われる仕事）

## その他

## ● 実習の受入

- 麻生医療専門学校、フチガミ、ILPお茶の水より実習生を受入れ予定。  
実習依頼があれば、可能な限り受けていく予定

## ● 研修計画

- |                         |                   |
|-------------------------|-------------------|
| 新任職員研修                  | 業務目標の設定・管理・達成研修   |
| 福祉職員キャリアパス対応 中堅職員コース    | 業務改善研修            |
| 利用者・家族とのコミュニケーション 力向上研修 | 会計担当者研修（初任者コース）   |
| 権利擁護研修                  | みんなねっと（全国大会・九州大会） |
| 虐待防止研修                  | リカバリーに関する研修       |

## ● 年間行事等

- 花見、バーベキュー、カラオケ、買い物ツアー  
クリスマス会、初詣、食事会  
合同スポーツ大会、みんなの集い/ハートメディア

令和2年度 職員体制		
常勤	非常勤	常勤換算
3.0	3.0	4.9

**就労支援事業計画****● 事業目標**

- 1.利用者と職員が本来の自分を発揮し、いきいきと過ごせる自由な雰囲気のある場を作る。
- 2.利用者全員に十分に目と心を行き届かせ、それぞれの事情に沿った個別の支援を強化する。
- 3.作業工賃のアップを目指す。
- 4.事業所として常に前を向き、小さくても何か新しいことに取り組む前進する姿勢を持つ。

**● 事業計画**

- 1.多機能事業所として、B型、生活訓練とも安定した通所者数を確保する。
- 2.請負作業も大切にしつつ、自主製品の検討、開発を進める。
- 3.利用者の次のステップアップの機会の提供。
- 4.B型と生活訓練がお互いに良い影響を与え合い、協力し合えるような環境を作る。

ピアつばめB 通所者数 平均/目標

(人/日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	合計
R1年度 通所平均	16.9	16.6	16.9	16.0	15.7	15.5	16.2	16.9	16.5	16.2	17.7	17.0	16.5	198.1
R2年度 通所平均目標	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0	204.0

**授産への取り組み****● 活動目標**

- 1.自主製品制作と請負作業を組み合わせ作業を提供する。利用者が体調、能力によって作業を選べるように柔軟性を持たせる。
- 2.自主製品の内容充実を目指し、手芸製品の種類を増やし消費者にとって魅力的な作品を制作する。
- 3.利用者の作業に対する自主性、積極性を高める。

**● 課題**

工賃がまだまだ福岡市の平均賃金には遠く、またマンネリ化を避けるためにも新しい事業を検討していきたい。作業の締切に追われ過ぎて支援に余裕がなくならないように個別の支援を充実させたい。

**その他****● 実習の受入**

精神保健福祉士実習指導者1名在籍

H31年度は、要請なし。R2年度は希望があれば受け入れ予定。

**● 職員研修**

- サービス管理責任者研修
- リスクマネジメント研修
- ストレスマネジメント研修
- キャリアパス対応生涯研修
- 業務目標の設定・管理・達成研修
- その他必要に応じて受講

**● 行事**

- 一泊旅行
- お花見、カラオケ、クリスマス忘年会、焼き肉会
- 紅葉狩り、ポーリング、みんなの集い、合同スポーツ
- 調理実習等



R1.12月 クリスマス忘年

## 令和2年度 職員体制

常勤	非常勤	常勤換算
3.0	1.0	3.6

## 自立訓練（生活訓練）事業計画

## ● 事業目標

- 1.安心できる居場所であると同時に、夢に向かって前進できる場所を作る。
- 2.自立し安心して楽しく日常生活が送れることを目的としてプログラムを行う。
- 3.利用者の自尊心の回復と生活上の目標の設定を支援する。
- 4.それぞれの個別支援計画に基づき、一人一人の状況に応じた個別の支援を充実させる。

## ● 事業計画

- 1.利用者の安定した通所を促し、集中力、興味、持続力を醸成する。
- 2.利用者の実生活に役立つ技術、能力を高めるプログラム、生活の質を高めるプログラムの提供。
- 3.個別の対話を重視しニーズを探り、個別の支援を充実させる。
- 4.利用者数を増やし、生活訓練自体の活性化、運営の安定化を図る。
- 5.スタッフ配置を充実させ、それに伴い訪問支援を開始する。

ピアつばめ生活 通所者数 平均/目標

(人/日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	合計
R1年度 通所平均	-	-	-	2.1	2.3	2.8	3.0	2.5	3.4	2.7	2.7	2.3	2.6	23.8
R2年度 通所平均目標	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	42.0

## 訓練への取り組み

## ● 活動目標

- 1.規則正しい生活を送るために、定期的な通所を促す。
- 2.プログラムにきちんと参加して、集中して取り組むことができることを目指す。
- 3.体力増進のため、最低30分程度の歩行を目標とし、軽い運動から取り入れる。
- 4.生活に楽しみや希望を持てるように、趣味充実や健康回復のための訓練を充実させる。
- 5.利用者の生活の様子を把握し、露出していないニーズや悩みを探り解決の支援を行う。

## その他

## ● 実習の受入

B型に準ずる

## ● 職員研修

B型に準ずる



ヨガの時間

令和2年度 職員体制		
常勤	非常勤	常勤換算
1.0	1.0	1.3

## 就労支援事業計画

## ● 事業目標と計画

- ・利用者支援：利用者のニーズ・特性に応じた支援、通所の定着、ペースの維持・向上
- ・職員体制の見直し：業務内容の整理と役割の明確化、専門知識の応用
- ・就労支援：利用者に応じた就労への準備支援、就労アセスメント等の活用
- ・地域、館内連携：舞鶴地区での行事参加、あいれふ館内でのイベント協賛および協力体制の強化

喫茶・レストラン オアシス 通所者数 平均/目標

(人/日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	合計
R1年度 通所平均	9.5	9.3	9.2	8.8	8.7	9.0	8.8	9.4	8.5	7.5	8.0	8.5	8.8	105.2
R2年度 通所平均目標	10.5	10.5	10.5	10.5	10.5	10.5	10.5	10.5	10.5	10.5	10.5	10.5	10.5	126.0

## 授産事業計画

## ● 事業目標と計画

【喫茶】 R2.4.1より喫茶の営業時間に変更になります 10:30~16:30

- ・働き方改革：職員、利用者ともに働きやすい環境づくり
- ・メニューおよび店舗環境の見直し、充実：主力商品の創出、リピーターの確保と働きやすさ
- ・利用者主体の店舗づくり：主体的に働く一員個々の目標に沿った行動

## 【軽作業】

- ・訓練機会の提供：体調、能力に合わせた取り組み、他者交流
- ・一定作業の確保：安定した収入源、請負作業の取引拡大または自主製品の検討
- ・個々の課題への対処力：課題・目標に沿ったアプローチ→通所意欲向上→作業効率向上

## 【受付～珈琲Slowth～】

- ・訓練機会の提供：利用者主体の場
- ・店舗との協同営業：技術を活かした販路見直し

## その他

## ● 実習の受け入れ予定

- ・筑紫女学園大学、麻生医療福祉専門学校 など

## ● 職員研修、スタッフ会議

- ・スタッフ会議、つばめ定例会
- ・就労支援連絡会
- ・福岡市精神保健福祉協議会
- ・福岡市精神保健福祉センター運営協議会
- ・食品衛生責任者(管理者)研修
- ・発達障害研修
- ・工賃向上研修
- ・筑紫女学園大学実習懇談会
- ・あいれふ定例会
- ・ちゅうちゅうネット研修会
- ・就労支援事業所研修会
- ・精神保健福祉従事者研修
- ・相談支援従事者現任研修
- ・サービス管理責任者更新研修
- ・感染症予防研修
- ・あいれふ(保護会館)防災・消防訓練

## ● その他行事、イベント

- ・舞鶴地区行事(夏祭り、文化祭)
- ・健康フェア(協賛)
- ・みんなの集い/ハートメディア
- ・暑気払い
- ・初詣
- ・合同スポーツ大会
- ・市民糖尿病教室(医師会コラボ)
- ・花見
- ・クリスマス会

令和2年度 職員体制		
常勤	非常勤	常勤換算
4.0	1.0	3.8

## 地域活動支援センター事業計画

## ● 事業目標

- ・地域で暮らす障がい者が安心して過ごせる居場所となるよう、利用者の孤独感を軽減し、楽しみや役割を見出せる支援を行う。
- ・利用者が地域で豊かな生活を送れるよう、地域社会と交流する機会の充実を図る。
- ・職員の成長のため、研修会などに積極的に参加する。

## ● 事業計画

- ・利用者を温かく迎え、安心して過ごせる場の提供、様々な相談対応、食事提供、サークル活動などを行う。
- ・利用者がつながりを地域へと広げるために、役割を持つなど自尊心を回復できるような支援を心掛ける。
- ・職員それぞれが自身の領域を広げて活躍できるよう、研修参加などを通して新たな業務にも積極的に取り組む。

## I 型事業への取り組み

## ● 目標・課題

1. 個別支援の充実
2. 地域住民への理解促進
3. 職員の研鑽

## ● 具体的な内容

1. 館内の温かい雰囲気づくりに努め、利用者が相談しやすい環境を提供できるよう細やかに配慮する。  
また、利用者のニーズに沿った適切な支援ができるよう、他機関との連携を強化する。
2. 地域ボランティアの力を借りて、食事提供や活動を行い、障がいへの理解の促進に努める。利用者も地域とのつながりに向けて、活動を通して周囲の思いを受入れたり、自身の思いを表現したりすることを学ぶ。
3. 職員は研修や他機関の活動を積極的に学び、それぞれが広い領域で活躍できるよう研鑽を積む。

## その他

## ● 実習生の受入

令和2年度は、大学と専門学校から計4～5名の実習生を受け入れる予定。精神保健を学ぶ学生に、障がいについての理解を深めてもらいたいという思いと、採用につながる可能性もあり、面接だけよりもより学生を見ることができるといった利点もあり、今後とも受け入れを行っていく。

## ● 職員研修

相談支援従事者初任者研修(希望3名)、サービス管理責任者研修(1名)、実習指導者研修(1名)、防火管理責任者(1名)、そのほか他機関で行われている精神疾患や各種障がいの支援についての研修に参加する。

## ● 居住サポート事業

賃貸契約による一般住宅(公営住宅及び民間の賃貸住宅)への入居を希望しているが、保証人がいないなどの理由により入居が困難な障がいのある方等に対して、入居に必要な調整等・家主等への相談・助言も含め支援を行い、障がいのある方の地域生活支援を行う。

## ● 資金不足解消のための取り組み

利用者に及ぼす影響を最小限に抑えながら、現状負担の大きい施設家賃を減らすため事業所の移転を検討する。また、来所が難しい利用者にも支援が行き届くような、訪問を主とした新規事業の立ち上げも検討する。

R1年度登録者数	R2年度登録者 目標数
149	150
R1年度1日平均 利用者数	R2年度1日平均 利用者目標数
33.2	33.2

令和2年度 職員体制		
常勤	非常勤	常勤換算
2.0	4.0	4.9

## 地域生活支援拠点等の整備事業計画

## ● 事業目標と計画

## 1 区ごとのネットワークの構築

- ・「西サポネット」実行委員会の運営
- ・「西サポネット」研修の開催
- ・サービス種別研修の実施

## 2 区内の相談支援事業所のネットワークの構築

- ・相談支援事業所『西区相談あつまろう会』の実施
- ・ケアマネ、相談支援専門員の連携の構築

## 3 区内の相談支援事業所に対する専門的な指導・助言・人材育成

- ・ケース検討会の実施、および同行支援

## 4 地域福祉の基盤づくり

- ・地域包括支援センターとの連携
- ・社会福祉協議会CSWとの連携協議
- ・圏域会議への参加～介護と福祉の共同
- ・SSWとの連携強化～学校と地域のネットワークの強化

## 5 緊急時の対応についての取組

- ・緊急時受け入れ・対応拠点との連携
- ・地域資源の緊急時対応のネットワーク検討
- ・緊急時拠点事前登録の促進
- ・緊急時対応者リストの作成

## 指定特定相談支援事業計画

## 1 特定相談

- ・基幹対象者ケースの整理後の移管
- ・地域移行・地域定着の推進、拠点区の病院との連携～地域移行の導入
- ・相談支援専門員の育成

## その他

## ● 職員研修

- ・区障がい者基幹相談支援センター相談支援専門員研修年度計画に基づき参加

## ● R2年度課題

- ・指定特定相談支援事業での独立採算への実働
- ・一般相談対象者の拡大による相談支援の採算性の確保
- ・指定特定相談支援の加算の申請～報酬請求体制の整備

令和2年度 職員体制		
常勤	非常勤	常勤換算
5.5	0.0	5.5